

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

イオンリテール(株)中四国カンパニー

(2) 事業所の所在地

広島県広島市南区段原南1-3-52

(3) 業種

5611:百貨店・総合スーパー

2 計画の期間

本年度の計画は、令和2年(2020年)を基準年度とし、令和3年度(2021年)から令和5年度(2023年)までの3年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	令和2年度 (2020年度)	令和5年度 (2023年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO2	5,912	5,735 (3.0)	5,063 14.4	100.0	100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	5,912	5,735 (3.0)	5,063 14.4	100.0	100.0	100.0	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	三原店は、省エネ投資、省エネ運営管理ともに積極的に取り組み目標を大幅に上回る成果を達成する。AS広島府中は、省エネ進捗管理の徹底とコロナ禍での営業自粛により目標を達成出来た。						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原 単位 (原油換算 kl)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	三原店は、LED照明を省エネタイプに入れ替え実施	省エネ効果3割削減	三原店では、LED照明が古くなり照度低下も目立つ為新しく省エネタイプに入替える。
2	三原店エアコン及び冷ケースの入替え実施	既存エアコンに比較して4割削減 既存オープンケース比較3割電気使用量削減	三原店では、食品売場エアコンを省エネタイプのマルチエアコンに変更する。又、冷凍食品売場で冷凍ケースを扉付きのリーチインに変更する。
3	AS広島府中では、コロナ禍での営業自粛	全消費電力の約5%の節電効果想定	①食品・生活必需品売場を除く時間短縮 2階フロア（5月～7月、3時間/日の短縮） ②3階キッズ売場（5月～7月、2時間/日の時間短縮）
4	三原店・広島府中店とも省エネ運営管理の徹底を図る。	省エネチェックリストの活用により1割を目標に使用量削減を目指す。	冷暖房の設定温度管理の徹底、使用時間帯をフロア別に設定して時間になれば電源を切る。食品ナイトカーテン利用の徹底等。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1	現状、取組んでおりません。	
2		
3		

○ その他の取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	廃プラスチック	持参率90%目標	お買い物袋の有料化に伴い、マイバックの普及を呼び掛けレジ袋使用を減らす。
2	食品廃棄物削減	廃棄売変率0.43%以下目標	AI利用にの発注予測精度のアップと計画的な見切り実施。
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。